

A large, stylized 'DID' logo is positioned in the upper left corner, set against a curved banner with a gradient from green to blue. The background of the entire page features a light blue and white pattern of overlapping circles and arcs, with a prominent rainbow-colored circular graphic on the right side.

DID

**DID** 大同工業株式会社

第 **128** 期 報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。  
さて、第128期事業年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長 新家 啓史

事業の経過及び成果

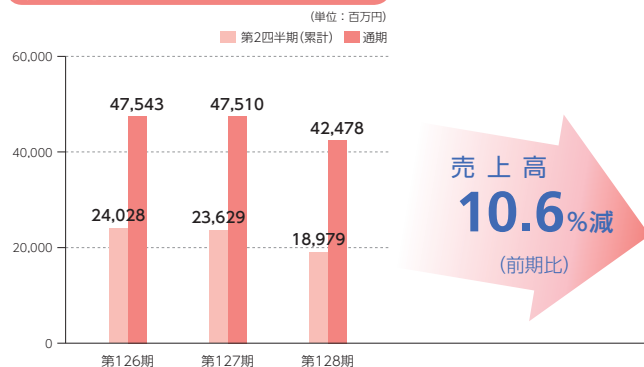
当期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の勢いは止まることなく、一部の国において景気回復の基調は見られたものの、全般的に低調に推移しました。また、米国大統領選挙後の社会的混乱や米中覇権争いの激化等から、先行きに対する不透明感が増しました。わが国の経済も、新型コロナウイルス感染症拡大の勢いは収まることなく、感染防止と社会経済活動の両立に困難をきたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、

北米における合併会社の設立決定等、海外拠点の強化を進め、グローバルな生産活動と拡販活動を推進し、グループ全体で事業領域の拡大を推進してまいりました。

収益面につきましては、二輪車及び自動車向け製品の需要は、当期第3四半期以降コロナ禍前の水準に回復してきたものの、年間を通じては低調に推移したことから当期の連結売上高は424億78百万円（前期比10.6%減）となり、設備投資の圧縮や人件費の抑制、経費削減等に努めた結果、連結営業利益は12億41百万円（前期比6.4%増）、連結経

売上高



営業利益



常利益は14億47百万円（前期比31.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10億49百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失19億20百万円）となりました。

対処すべき課題

第11次中期経営計画（2018～2020年度）『切り拓こう たゆまぬ挑戦で 未来を！』の達成に向け、グループ一丸となって継続的な変革を実施してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、世界各地で経済活動が大きく制限され、世界経済は非常に厳しい状況となり、当初目標を下回る結果となりました。

世界経済の先行きが不透明な状況ではありますが、本年、当社は『「伝える」「はこぶ」未来をカタチに！』をスロー

ガンとする第12次中期経営計画（2021年度～2023年度）の初年度となります。従業員一人ひとりの力を集結させ、組織の力を最大化することにより、ものづくり企業として社会の発展に貢献すると共に、EV化に対応し得る技術、高度塑性加工や金属表面処理等の既存固有技術を「強み」として磨き上げ、それら技術を差別化の源泉として新しい市場に挑戦してまいります。また、従業員との間で共通の価値観を共有することにより、人を育て活かす風土を醸成し、共に成長し続ける企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第129期（2022年3月期）連結業績予想

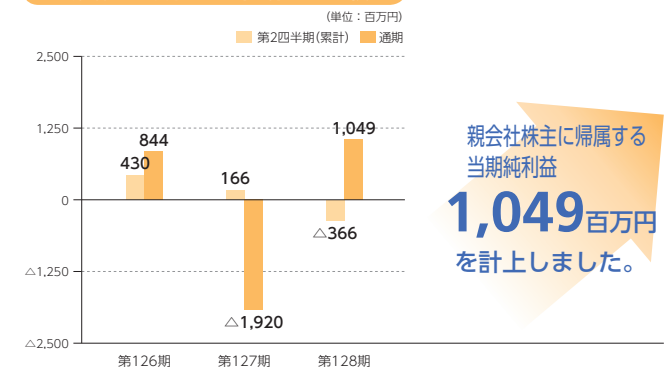
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期（累計）	24,400	1,500	1,600	1,000
通期	46,500	2,500	2,800	1,700

(単位：百万円)

経常利益



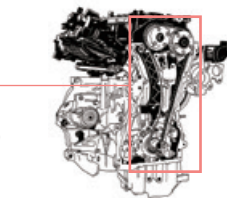
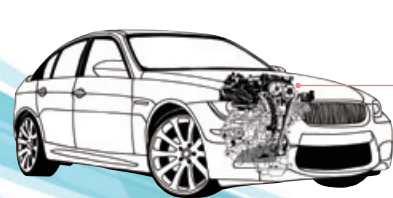
親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失



## 自動車用

大同工業の自動車エンジンタイミングチェーンシステムは、高出力で小形化する高性能エンジンに要求される優れた耐摩耗性、疲れ強さ、静音性などの厳しい条件を満たして高い評価を得ています。

[主な納入先] HONDA、TOYOTA、DAIHATSU、MAZDA、SUBARU、SUZUKI、第一汽車



レバー・ガイド



テンショナー



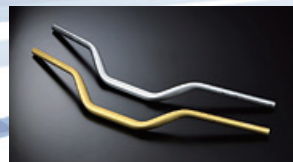
タイミングチェーン



スプロケット



ハンドルパイプ



リム・スポーク・ホイール



タイミングチェーン



ドライブチェーン



## 二輪車用

[D.I.D] ブランドとして生産・納入されるドライブチェーンやアルミリム等のバイク用製品は、国内・海外のメーカーやMotoGP等世界の名だたるレースにおいて長年にわたり採用され、高い評価と信頼を獲得しています。

[主な納入先] HONDA、YAMAHA、SUZUKI、KAWASAKI、BMW、DUCATI、HARLEY-DAVIDSON

## 産業用

高度化・多様化するニーズに、コンサルテーション能力と開発力、固有技術で、お客様の環境に合わせたソリューションを提供しています。

産業機械用チェーン



[主な使用用途]  
・立体駐車場  
・フォークリフト  
・建設機械・農業機械  
・食品加工機械  
・印刷機械・包装機械

コンベヤシステム



バキューム搬送コンベヤ



モノづくりへの情熱で世界

## 事業領域

に感動をお届けするヒューマンテクノロジー

私たちは創業以来、「伝える」「はこぶ」をテーマに、世界のニーズを満たす技術の徹底追求を行い、高性能、高品質な製品をお届けしてきました。

その根底には、人にふれあう技術、人とともに伸びる技術という思想が貫かれています。

モノづくりは人づくり、そして情熱。私たち大同工業グループは、絶えず人と技術を原点に置き、ひたむきに「D.I.D」ブランドへの期待と信頼にお応えしています。

いす式階段昇降機



車いす用階段昇降機



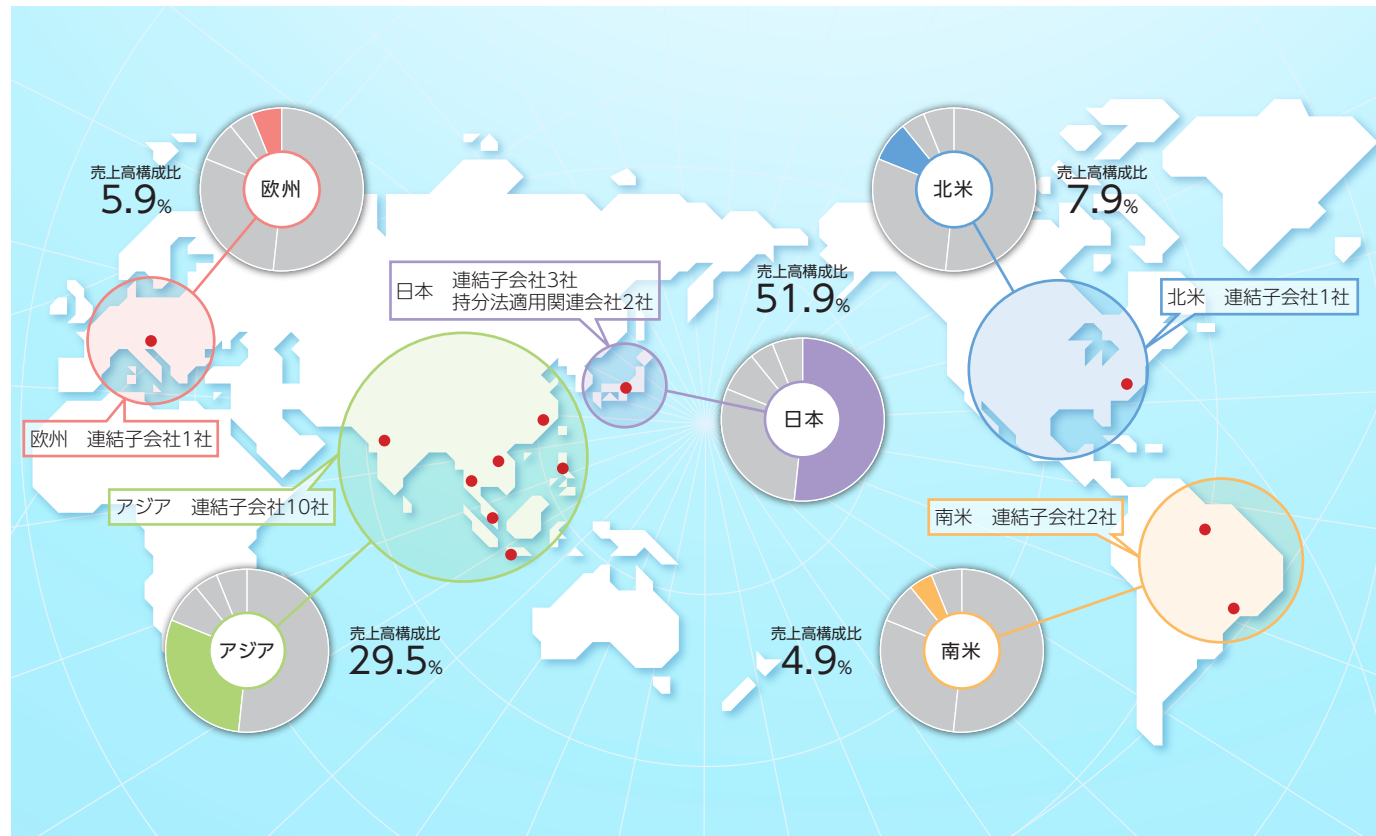
階段補助手すり



## 福祉機器

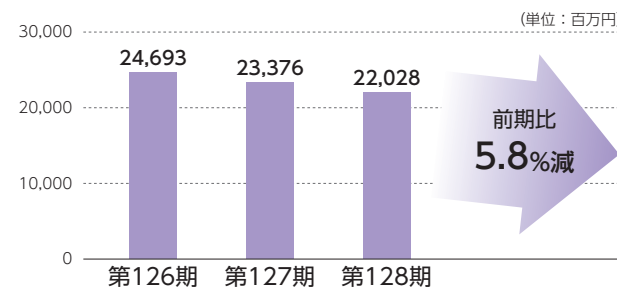
豊かで快適な福祉社会を実現するため、使う人の立場に立ったユニバーサルデザインに基づく福祉機器の開発を通じて、バリアフリー社会に貢献しています。

所在地別セグメント



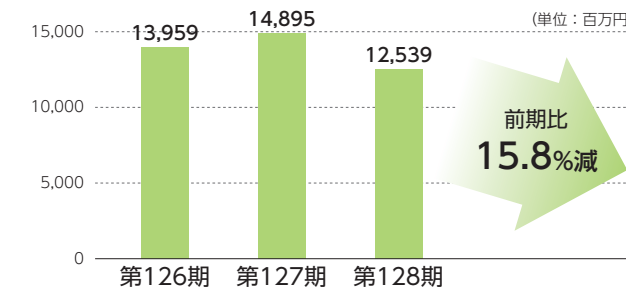
● 日本

鉄鋼メーカー向け搬送関連設備の大型案件の売上を計上したことに加え、海外向けの生産設備の受注が好調に推移したものの、二輪車及び自動車用チェーン等において、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う完成車メーカーの生産停止や生産減少により、受注が大きく減少したことから、外部顧客への売上高は220億28百万円（前期比5.8%減）となったものの、生産効率の改善による材料費等の低減、人件費の抑制、経費削減等に努めた結果、営業利益は5億86百万円（前期比55.9%増）となりました。



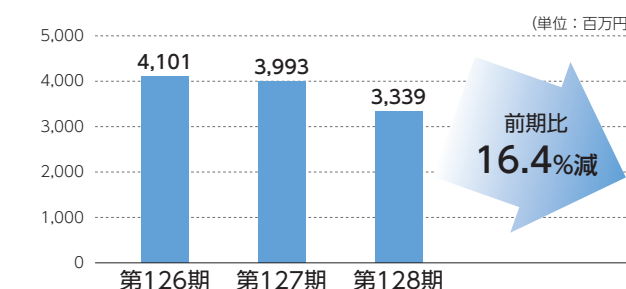
● アジア

新型コロナウイルス感染拡大の影響による完成車メーカーの生産減少により、二輪車及び自動車用チェーンの受注が低調に推移するとともに、中国においても景気悪化による設備投資意欲の減退や工事延期の影響等により受注が低調に推移したことから、外部顧客への売上高は125億39百万円（前期比15.8%減）、営業利益は4億35百万円（前期比43.5%減）となりました。



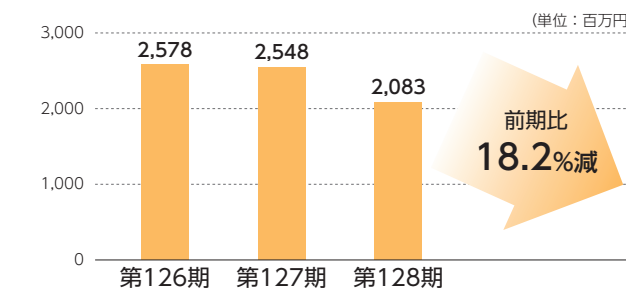
● 北米

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う完成車メーカーの生産停止や生産減少により、自動車用チェーンの受注が低調に推移したことに加え、産業機械用チェーンにおいて一部機種が生産終了となったことから、外部顧客への売上高は33億39百万円（前期比16.4%減）となりました。収益面につきましては、前期は合弁会社設立関連費用の負担が大きく、91百万円の営業損失を計上しましたが、当期は51百万円の営業利益を計上し、前期を上回りました。



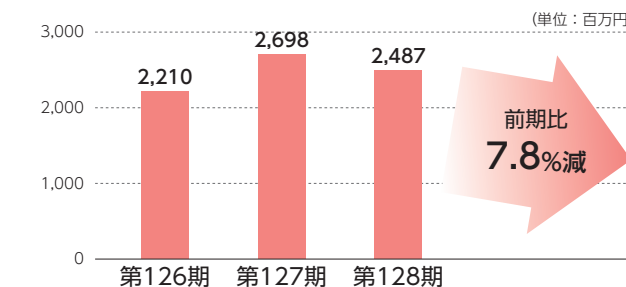
● 南米

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、完成車メーカー向け及び補修市場向け二輪車用チェーンの受注が低調に推移したことに加え、現地通貨安の影響を受け、外部顧客への売上高は20億83百万円（前期比18.2%減）となったものの、利益率の高い製品の販売が増加したことやコストダウンを徹底したことにより、営業利益は36百万円（前期は89百万円の営業損失）となりました。



● 欧州

補修市場向けにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の影響による受注低迷により、外部顧客への売上高は24億87百万円（前期比7.8%減）となりました。また、為替や資材価格の変動影響により仕入コストが増加したこともあり、営業利益は1億8百万円（前期比12.3%減）となりました。

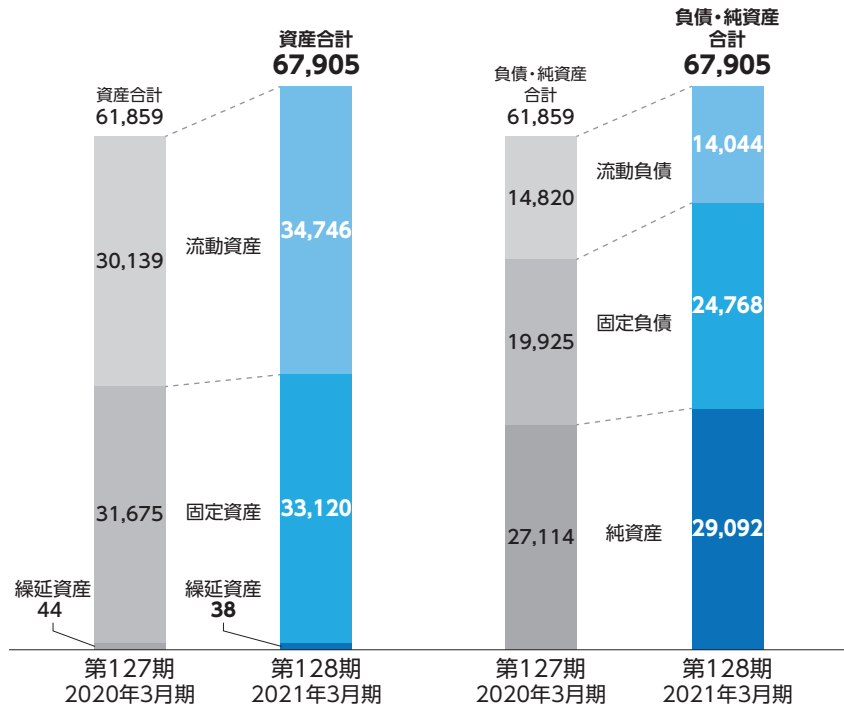


●資産の部

単位：百万円

●負債及び純資産の部

単位：百万円

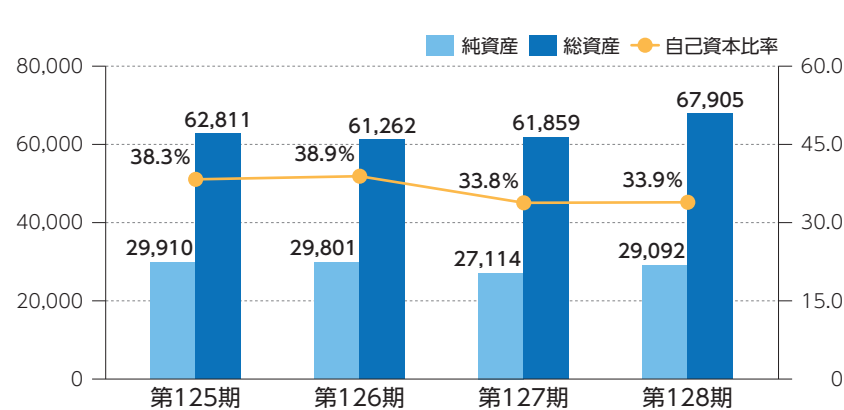


●ポイント解説

総資産は、現金及び預金、投資有価証券が増加したことなどにより、前期末と比べ60億45百万円増加しました。負債につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による不測の事態に備え、運転資金の確保を目的として、金融機関より長期借入金で資金を調達したことなどにより、前期末と比べ40億67百万円増加しました。純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末と比べ19億78百万円増加しました。

●純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円



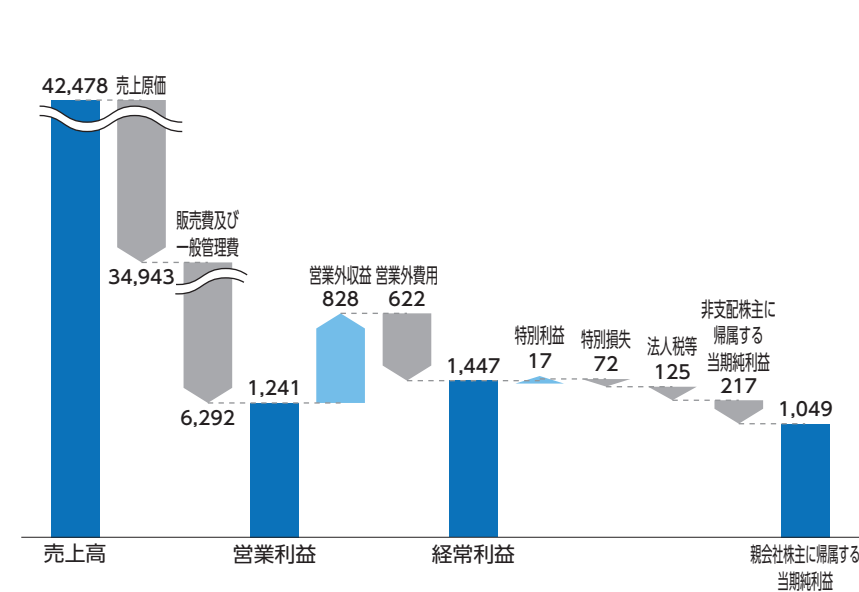
●ポイント解説

親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことにより、利益剰余金が増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、自己資本比率は前期末と比べ0.1ポイント増加の33.9%となりました。

●損益の状況

(2020年4月1日～2021年3月31日)

単位：百万円



●ポイント解説

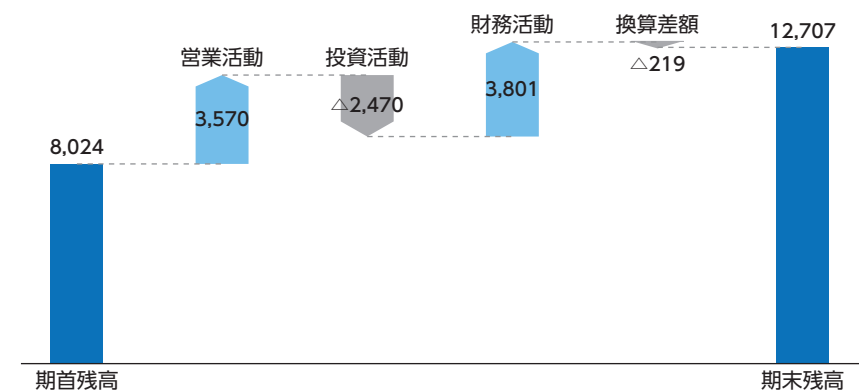
売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により第2四半期までは低調に推移したことから、前期を下回る結果となりましたが、第3四半期以降は二輪車及び自動車向け製品の需要はコロナ禍前の水準に回復しました。収益面では、生産効率の改善による材料費等の低減、人件費の抑制、経費削減等に努めた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前期を上回りました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失
第128期 2021年3月期	42,478	1,241	1,447	1,049
第127期 2020年3月期	47,510	1,166	1,102	△1,920

●キャッシュ・フローの状況

(2020年4月1日～2021年3月31日)

単位：百万円



●ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益、減価償却費を計上し、売上債権が増加したことなどにより、35億70百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、24億70百万円の使用となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の増加などにより、38億1百万円の獲得となりました。

会社の概況 (2021年3月31日現在)

商号：大同工業株式会社  
 設立年月日：1933年5月25日  
 資本金：35億3,651万円  
 従業員：768名(個別) 2,282名(連結)

(注) 上記従業員数は就業人員であり、臨時雇用者(定年後再雇用社員、派遣社員等)は含んでおりません。

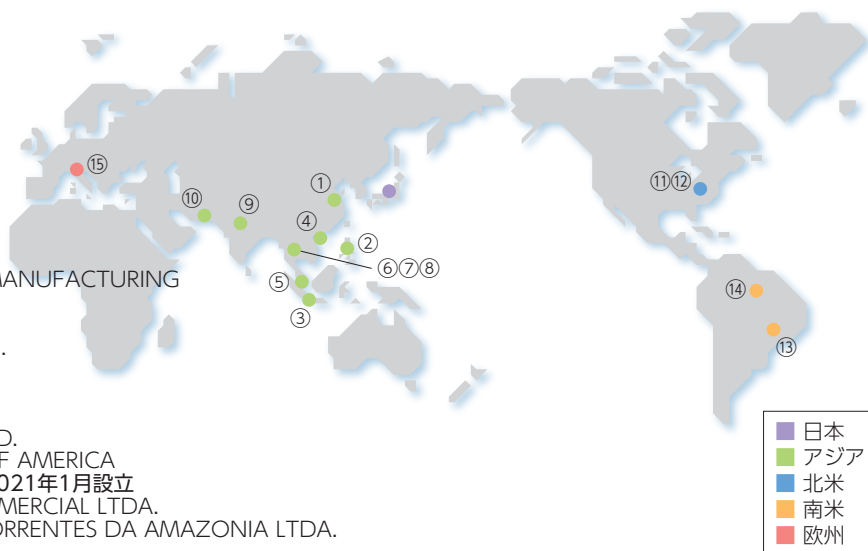
事業所 (2021年3月31日現在)

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地  
 福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20  
 動橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1  
 東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4 (ユニゾ人形町三丁目ビル)  
 札幌営業所：札幌市東区北18条東18-1-3  
 栃木営業所：宇都宮市東宿郷4-2-20 (KDビル)  
 浜松営業所：浜松市北区三方原町1130-2  
 名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7  
 大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12 (新家ビル)  
 西日本営業所：福岡市博多区博多駅南1-3-6 (第三博多借成ビル)  
 熊本営業所：熊本県菊池市志志川1074-1

グローバルネットワーク (2021年3月31日現在)

- 国内ネットワーク
- 株式会社大同ゼネラルサービス
  - 株式会社大同テクノ
  - ガイド建設株式会社
  - 新星工業株式会社
  - 株式会社月星製作所
  - 株式会社和泉商行
  - 株式会社スギムラ精工

- 海外ネットワーク
- 中国 ① 大同鏈条(常熟)有限公司
  - フィリピン ② D.I.D PHILIPPINES INC.
  - インドネシア ③ P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
  - ベトナム ④ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
  - マレーシア ⑤ DID MALAYSIA SDN. BHD.
  - タイ ⑥ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
  - タイ ⑦ D.I.D ASIA CO., LTD.
  - タイ ⑧ INTERFACE グループ (3社)
  - インド ⑨ DAIDO INDIA PVT. LTD.
  - パキスタン ⑩ ATLAS DID (PRIVATE) LTD.
  - アメリカ ⑪ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
  - アメリカ ⑫ IWIS-DAIDO LLC **New 2021年1月設立**
  - ブラジル ⑬ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
  - ブラジル ⑭ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
  - イタリア ⑮ DID EUROPE S.R.L.



会社役員の内訳 (2021年6月24日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役会長	新家 康三
代表取締役社長	新家 啓史
常務取締役	菊知 克幸
常務取締役	清水 俊弘
取締役	眞田 昌則
取締役	石村 外志雄
取締役 監査等委員(常勤)	梶谷 清浩
取締役 監査等委員(社外)	澤 保
取締役 監査等委員(社外)	坂下 清司
取締役 監査等委員(社外)	武市 祥司

(注) 1. 澤保氏、坂下清司氏、武市祥司氏は社外取締役であります。  
 2. 当社は、澤保氏、坂下清司氏、武市祥司氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所へ届出しております。

株式の内訳

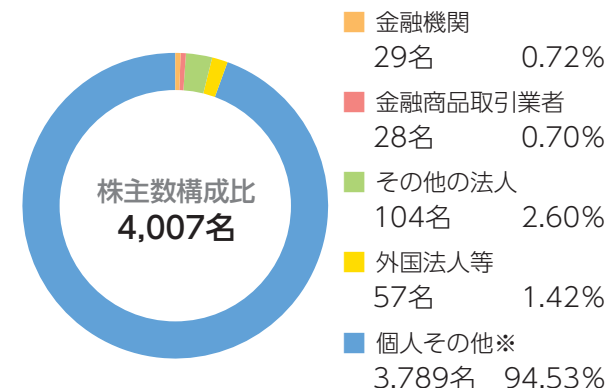
発行可能株式総数：32,000,000株  
 発行済株式総数：10,924,201株(自己株式1,462株含む)  
 株主数：4,007名

大株主(上位10名)

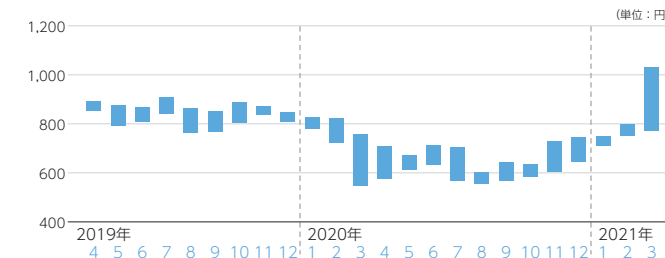
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	668千株	6.12%
株式会社飯田	547	5.01
株式会社北國銀行	542	4.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	466	4.27
日本生命保険相互会社	275	2.52
加賀商工有限会社	262	2.41
大同生命保険株式会社	259	2.38
株式会社みずほ銀行	258	2.36
株式会社三菱UFJ銀行	258	2.36
新家萬里子	257	2.36

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

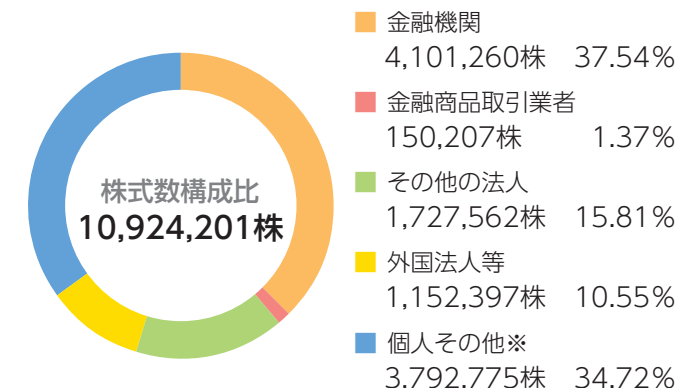
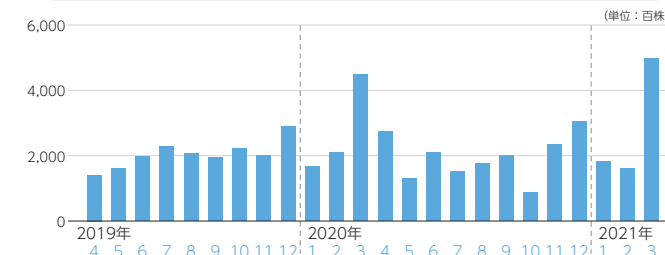
株式分布状況



株価(高値・安値)の推移



出来高の推移



※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

## “「伝える」「はこぶ」未来をカタチに！” 第12次中期経営計画を策定

当社は、“「伝える」「はこぶ」未来をカタチに！”を経営スローガンとして、2022年3月期から2024年3月期を対象とする第12次中期経営計画を策定いたしました。

### I. 会社方針

#### 1、一人ひとりの力を集結して事業を完遂し、**社会の発展**に貢献する。

個々の能力を集め、組織の力を最大限に発揮し事業課題をやりきることで、社会の持続的な発展に貢献していきます。

#### 2、**技術を差別化**の源泉として**新しい市場に挑戦**する。

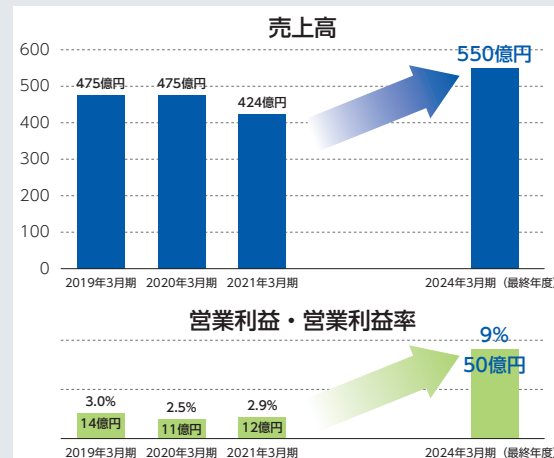
「EV化」に対応した技術、高度塑性加工技術、表面処理技術などを「強み」とし、磨き上げ、新たな市場に果敢に挑戦していきます。

#### 3、**共通価値観**を浸透させ、**人を育て活かす風土**をつくる。

「私たちの共通価値観」により、全社でベクトルを合わせ、社員と共に成長できる企業を目指します。

### II. 全社数値目標

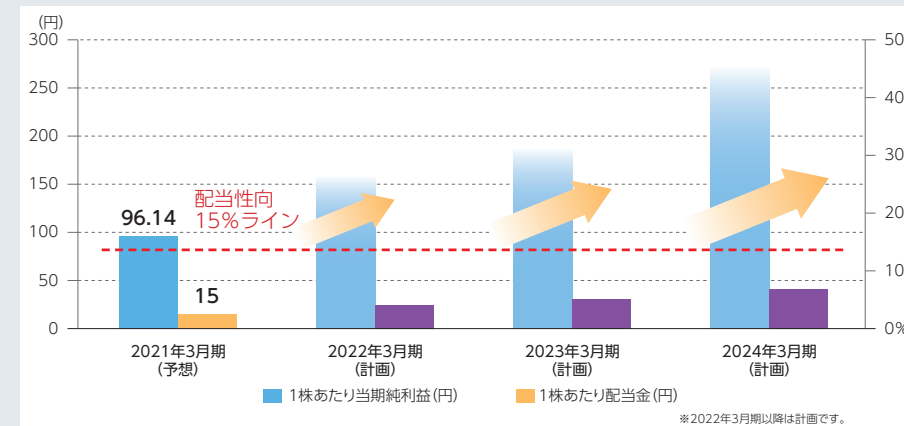
2024年3月期（最終年度目標値）	
売上高	550億円
営業利益	50億円
営業利益率	9%
自己資本利益率 (ROE)	10%



### III. 第12次中期経営計画の概要

<b>二輪部品事業</b> 将来につながる競争優位性と差別化の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>■補修マーケットの開拓を強力に推進</li> <li>■技術力・グループの総合力を駆使した受注獲得活動を強化</li> <li>■マス・カスタマイゼーションへの基礎構築 (多品種少量製品を大量生産の効率でつくる)</li> </ul>	<b>産機事業</b> グローバルネットワークを活用し差別化・集中戦略を確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>■海外拠点を活用したグローバル展開の推進</li> <li>■最適供給（生産）体制の確立</li> <li>■オンリーワン商品の開発</li> <li>■ダントツ品質活動の推進 (部品制度向上／品質管理強化)</li> </ul>
<b>自動車部品事業</b> 既存事業の主力製品であるチェーンの売上拡大と強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>■既存事業 世界新車内燃機関向け販売でのシェア 6% ⇒ 12% (700万台) への拡大 (2030年)</li> <li>■新規事業 次世代自動車・非内燃機 (EV) 向け新規製品の開発・受注活動を強力に推進</li> </ul>	<b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■グローバルでのモノづくり技術を改革するスマートファクトリーの基盤を構築する</li> <li>■オープン・クローズ両面からのイノベーションを推進し、EV市場等での新規事業の創出を急ぐ</li> <li>■会社の持続的成長を下支えするために「ひとの高度化」と「仕組みの改革」を推進する</li> </ul>

### IV. 配当方針



株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策と位置付け、安定した配当の維持を基本とし、通期の業績、経営環境並びに中長期的な財務体質の強化等を総合的に勘案して配当を行う方針であり、本中期経営計画期間中の配当性向は15%以上とし、1株あたり配当金の継続的な拡大を目指します。

## 合併会社『IWIS-DAIDO LLC』を設立

当社グループは、従前より自動車エンジン内チェーンシステム事業（以下、「自動車部品関連事業」という。）の拡大のための様々な施策を行っておりますが、その一環として、この度、北米における自動車部品関連事業の事業基盤強化及びシェア向上を目的として、ドイツに本社を置く自動車エンジン用タイミングドライブシステム（チェーンおよびそのシステム部品等を含む）の大手であるIWIS MOTORSYSTEME GMBH & CO.KG（以下、「IWIS」という。）と当社北米子会社のDAIDO CORPORATION OF AMERICAとで、合併会社『IWIS-DAIDO LLC』を設立いたしました。

新たに設立した合併会社においては、当社グループ及びIWIS双方の強みを活かすことで、販路拡大や新規顧客の獲得、コストメリットの創出などが期待され、このアライアンスを通じて、北米市場におけるシェア拡大を図るものであります。

今後も、自動車部品関連事業の拡大に向けた取り組みを引き続き推進してまいります。



名 称	IWIS-DAIDO LLC
所 在 地	3500 North U.S. Highway 641, KY 42071 Murray
事 業 内 容	自動車エンジン用タイミングドライブシステム（チェーンおよびそのシステム部品等を含む）の製造・販売
設立年月日	2021年1月1日
出 資 比 率	IWIS MOTORSYSTEME GMBH & CO.KG 70% DAIDO CORPORATION OF AMERICA 30% (25% 現物出資+5%追加取得)

## 合併会社『ATLAS DID (PRIVATE) LTD』でチェーン一貫生産の開始

当社と当社タイ子会社であるDAIDO SITTIPOL CO., LTD.及びパキスタンの大手企業であるアトラスグループの子会社ATLAS AUTOS (PRIVATE) LTD.との3社にて、2019年7月22日に設立した 合併会社『ATLAS DID (PRIVATE) LTD.』において、二輪車用チェーンの一貫生産設備の導入が完了いたしました。

今年度は年間350万メートルの生産に向けて準備を整えており、2024年には年間450万メートルの生産能力到達を目指し、今後もグループ一丸となってパキスタンでのビジネス拡大を図ってまいります。



名 称	ATLAS DID (PRIVATE) LTD.
所 在 地	カラチ市 アトラス工業団地 (カラチ中心地から約20km)
事 業 内 容	二輪車用チェーン等の製造・販売
設立年月日	2019年7月22日
出 資 比 率	ATLAS AUTOS (PRIVATE) LTD. 60% 当社 20% DAIDO SITTIPOL CO., LTD. 20%

### 株式のご案内

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催	
単 元 株 式 数	100株	
単元未満株式の 買 取 制 度	1単元 (100株) 単元未満株式 (1から99株)	
基 準 日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日	そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
株 主 名 簿 管 理 人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
株 主 名 簿 管 理 人 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	☎ 0120-782-031	
(インターネットHP URL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>	
公 告 の 方 法	当社ホームページに掲載(電子公告) <a href="https://www.did-daido.co.jp/jp/index.html">https://www.did-daido.co.jp/jp/index.html</a>	
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第一部	
証 券 コ ー ド	6373	

### お知らせ (株式事務のご案内)

#### ■ 各種手続き・ご照会について

株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。住所、氏名の後変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は、口座を開設されている証券会社までご連絡ください。

#### ■ 特別口座について

株券電子化の実施までに証券保管振替制度をご利用されなかった株式につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されております。特別口座で管理されている株式についてのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は特別口座管理機関である三井住友信託銀行までご連絡ください。なお、三井住友信託銀行の全国本支店でもお取次いたします。

#### ■ 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場における取引単位を1単元(100株)とさせていただいておりますので、単元未満株式(1から99株)の株式は証券市場でのお取引ができません。当社単元未満株式の買い取りをご希望される株主様は、お取引のある証券会社(特別口座が開設されている株主様は、三井住友信託銀行)までお問い合わせください。なお、買取請求に関する手数料は無料となっております。

#### ■ 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内

<https://www.did-daido.co.jp/>



投資家の皆様に財務情報や最新トピックスをご提供しております。



より詳細な財務情報をご希望の方は、  
当社ホームページ [投資家向け情報] をご覧ください。

大同工業 投資家向け情報

検索

<https://www.did-daido.co.jp/jp/ir/index.html>



株主向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い  
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。  
QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に  
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ

[e-株主リサーチ事務局]

MAIL: [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)

